

# 第37期 中間株主通信

平成27年4月 1日から  
平成27年9月30日まで

1  
BASARA  
ANNIVERSARY



(証券コード 9697)

株式会社 **カプコン**

戦国  
BASARA 4  
SUMMER RAGING  
皇

「戦国BASARA4 皇」©CAPCOM CO., LTD. 2015 ALL RIGHTS RESERVED.





辻本 憲三

辻本 春弘

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
ここに当社グループ第37期上期(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用環境や公共投資は堅調に推移したものの、中国経済の減速等に伴う輸出の減少や個人消費の低迷などにより、景気は踊り場状態となりました。

当業界は、ゲームコンテンツ市場において家庭用ゲームの成熟化傾向が続く中、スマートフォンを主体としたモバイルゲームが熾烈な顧客争奪戦により、オセロゲームのようにシェアが反転して明暗を分けつつも、勢力拡大により全体の市場規模を押し上げました。

こうした情勢のもと、当社は市場動向に対応したプロモーション活動や開発、販売と密接に連携したマーケティング展開を推し進めたほか、開発コストの低減や開発期間の短縮を図るため、外部委託の削減による内作比率の向上などにより、開発プロセスや収益管理の改善に取り組んでまいりました。また、「デビル メイ クライ」および「戦国BASARA」のコラボレーションである「舞台 戦国BASARA vs Devil May Cry」を東京で開演したところ、ユーザー層以外にも話題となり両タイトルの認知度向上に寄与いたしました。

さらに、甲府市と人気シリーズ「戦国BASARA」のキャラクターなどを使ったスタンプラリーに加え、「埼玉県立歴史と民俗の博物館」にて同キャラクターを起用した特別展「戦国図鑑-Cool Basara Style-」を共催するなど、地方自治体とのさまざまな協働により世間の注目を浴びるとともに、当社の企業イメージや知名度を高めることができました。

他方、「東京ゲームショー2015」に出展した当期の主力タイトル「モンスターハンタークロス」の試遊コーナーに行列ができるなど、来場者の注目の的となり今年11月28日の発売に向けて弾みがついてまいりました。

この結果、当中間連結累計期間の売上高は316億38百万円(前年同期比22.1%増)と増収になりました。利益面につきましては、売上原価率の増加などにより営業利益28億44百万円(前年同期比35.1%減)、経常利益28億91百万円(前年同期比36.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益19億51百万円(前年同期比34.4%減)となりました。

なお、中間配当につきましては、1株当たり15円とさせていただきます。

今後の見通しといたしましては、当業界はモバイルゲームの台頭によりゲーム市場全体の主導権を巡って激的なサバイバルレースが繰り広げられるなど、競争環境は一段と厳しくなり、「勝ち組」と「負け組」の二極化が顕在化していくことも予想されます。

業界の構造的転換が進む状況下、当社は経営資源を基幹部門である家庭用ゲームソフトの開発に集中することに加え、重点事業であるオンラインゲームとモバイルコンテンツの局面を打開するため、中期的な開発マップに基づき商品ラインアップを拡充するとともに、ゲーム配信後の確かな運営や管理ノウハウを蓄積するほか、広範な利用者に対応した訴求力のあるコンテンツの投入など、顧客満足度の向上により早期巻き返しを図ってまいります。

また、販売形態の多様化に伴う収益源の多角化や在庫リスクの回避、流通コストの削減を図るため、「売り切り型」のパッケージ販売以外に好採算のダウンロード版の拡大に注力してまいります。加えて、持続的な成長を実現するためには、市場規模が大きい海外でのビジネス拡大が不可欠であります。近年オンラインゲームが普及しているアジアでの積極展開を図るため、同地域を管轄する事業部門を新たに立ち上げました。

他方、テンセント社が当社との提携によるPCオンラインゲーム「モンスターハンターオンライン」の配信を予定するなど、成長余力がある中国市場におけるビジネスチャンスを開いてまいります。

さらに、人気ゲームをテレビ、アニメ、舞台、出版、玩具および飲食食品など多方面に活用したワンコンテンツ・マルチユース展開によりキャラクタービジネスを推し進めてまいります。この一環として、人気シリーズ「モンスターハンター」のアニメ化を決定し来年に放映するとともに、「バイオハザード」を舞台化した「BIOHAZARD THE STAGE」を東京六本木で今年10月に上演するなど、看板タイトルとの相乗展開を図ってまいります。

なお、マイナンバー(社会保障・税番号)制度が来年1月から実施されることに伴い、個人情報漏洩の未然防止やシステム環境の整備など、経営リスク回避のためセキュリティ対策に万全を期してまいります。

下期は、国内で不動の地位を築いたシリーズ最新作の「モンスターハンタークロス」(ニンテンドー3DSシリーズ用)や海外に照準を合わせた「ストリートファイターV」(プレイステーション4、パソコン用)など、国内外で人気のある大型タイトルを投入することにより本格的攻勢をかけてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月

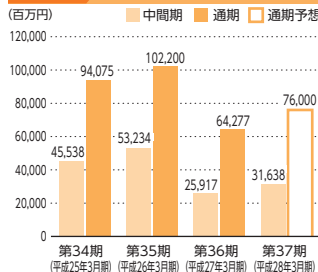
代表取締役会長  
最高経営責任者(CEO)

辻本 憲三

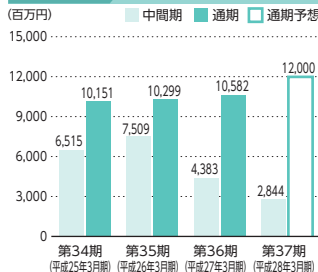
代表取締役社長  
最高執行責任者(COO)

辻本 春弘

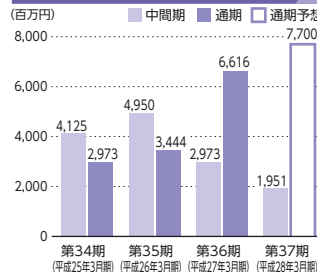
売上高



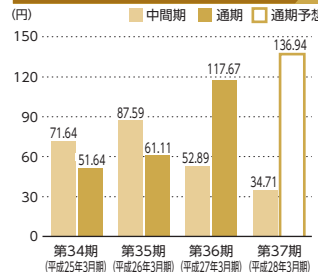
営業利益



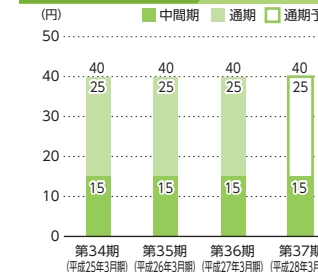
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



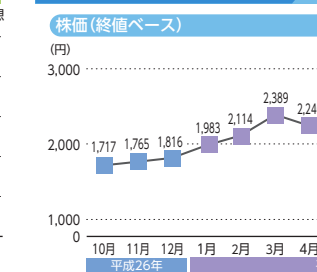
1株当たり中間(当期)純利益



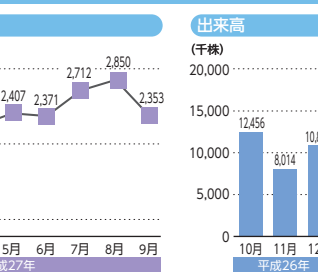
1株当たり配当額



株価および出来高の推移



出来高



財務ハイライト  
株主の皆様へ

事業の概況

中間連結財務諸表

IR情報  
会社データ

## デジタルコンテンツ事業

「戦国バサラ4 皇」(プレイステーション 4、プレイステーション 3用)が定着したブランド力により底堅い売行きを示しましたが、「大逆転裁判 -成歩堂龍ノ介の冒険-」(ニンテンドー3DSシリーズ用)は、軟調に推移いたしました。一方、リピート販売やダウンロード版が海外を中心に健闘いたしました。

また、オンラインゲームは、さまざまな遊びが自由に体験できるオープンワールドタイプの「ドラゴンズドグマ オンライン」(プレイステーション 4、プレイステーション 3、パソコン用)が好調なスタートを切ったほか、モバイルコンテンツでは「モンスターハンター エクスプロア」(アンドロイド、iOS用)の配信を開始いたしました。

この結果、売上高は143億4百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益15億33百万円(前年同期比28.7%減)となりました。

### 売上高構成比

平成27年9月期  
**45.2%**



「戦国バサラ4 皇」  
(プレイステーション 4・3用)



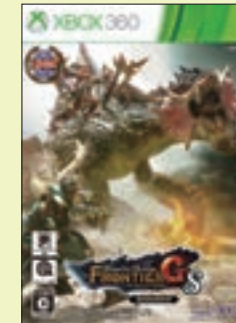
「大逆転裁判 -成歩堂龍ノ介の冒険-」  
(ニンテンドー3DSシリーズ用)



「ドラゴンズドグマ オンライン」  
(プレイステーション 4・3、パソコン用)



「モンハン日記 ぼかぼかアイルー村DX」  
(ニンテンドー3DSシリーズ用)



「モンスターハンター フロントア G8」  
(パソコン、Xbox 360、Wii U、  
プレイステーション 3、  
プレイステーション ヴィータ用)



「モンスターハンター エクスプロア」  
(アンドロイド、iOS用)





## アミューズメント施設事業

市場停滞が続く環境のもと、中高年者を対象にゲームの無料体験ができるゲームセンターツアーやサービスデーの実施に加え、低年齢者向けに「あそび王国ぴいかあぶら」や「キッズコーナー」を設置するなど、趣向を凝らした集客展開により客層の拡大に努めてまいりました。

しかしながら、目玉機種不足やスマートフォン等、ユーザー層が重なる娯楽の分散化などにより弱含みに展開いたしました。

当該期間は、1店舗出店するとともに、1店舗を閉鎖しましたので、施設数は33店舗となっております。

この結果、売上高は44億5百万円(前年同期比8.6%減)、営業利益3億55百万円(前年同期比46.2%減)となりました。

### 売上高構成比

平成27年9月期

13.9%



## アミューズメント機器事業

パチスロ機部門は、満を持して投入した「バイオハザード6」が安定したファン層に支えられ、順調に販売台数を伸ばしたことから売上高を押し上げるなど、収益を下支えしたほか、9月に「アスラズラス」を発売いたしました。

一方、業務用機器部門につきましては、「ルイージマンション アークード」を投入したほか、業務用としては最初の音楽ゲームとなる「クロスビーツレヴ」が稼働いたしました。

この結果、売上高は121億32百万円(前年同期比76.3%増)、営業利益25億51百万円(前年同期比19.2%減)となりました。

### 売上高構成比

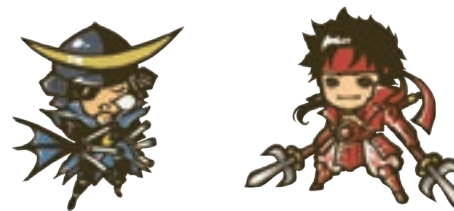
平成27年9月期

38.4%



## その他事業

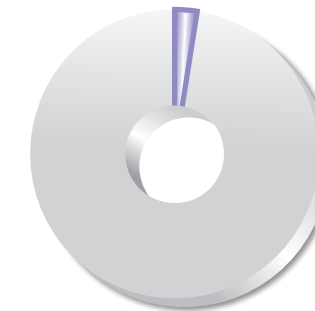
主なものはゲームガイドブック等の出版やキャラクターグッズなどの物品販売で、売上高は7億95百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益2億53百万円(前年同期比12.5%増)となりました。



### 売上高構成比

平成27年9月期

2.5%



「イオンモール千葉ニュータウン(千葉県印西市)にオープン」



「バイオハザード6」

「クロスビーツレヴ」

©CAPCOM CO., LTD. 2015 ALL RIGHTS RESERVED.  
©CAPCOM 2015  
©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.



中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

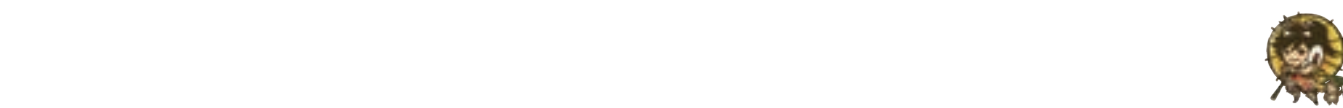
科目	期別	前中間期 (平成26年9月30日現在)	当中間期 (平成27年9月30日現在)	前期 (平成27年3月31日現在)	科目	期別	前中間期 (平成26年9月30日現在)	当中間期 (平成27年9月30日現在)	前期 (平成27年3月31日現在)
<b>【資産の部】</b>					<b>【負債の部】</b>				
流動資産		63,580	73,019	65,659	流動負債		23,434	23,198	17,246
現金および預金		27,724	31,255	32,204	支払手形および買掛金		2,728	3,071	3,089
受取手形および売掛金		8,280	9,727	8,005	電子記録債務		1,374	6,054	988
商品および製品		1,940	1,538	1,225	短期借入金		10,219	4,234	3,452
仕掛品		1,413	2,074	1,672	未払法人税等		959	970	823
原材料および貯蔵品		654	1,558	1,020	賞与引当金		497	581	1,832
ゲームソフト仕掛品		15,630	21,874	16,833	その他		7,654	8,285	7,058
その他		7,990	5,042	4,755	<b>固定負債</b>		<b>4,547</b>	<b>13,727</b>	<b>12,195</b>
貸倒引当金		△53	△52	△56	長期借入金		798	9,623	7,540
固定資産		31,345	35,754	35,113	退職給付に係る負債		1,808	2,226	2,101
有形固定資産		14,249	17,479	17,328	その他		1,940	1,878	2,554
無形固定資産		9,375	11,527	10,668	<b>負債合計</b>		<b>27,982</b>	<b>36,926</b>	<b>29,442</b>
オンラインコンテンツ仮勘定		6,861	5,354	7,895	<b>【純資産の部】</b>				
その他		2,513	6,173	2,772	株主資本		67,432	70,772	70,228
投資その他の資産		7,720	6,747	7,117	資本金		33,239	33,239	33,239
その他		7,797	6,826	7,196	資本剰余金		21,328	21,328	21,328
貸倒引当金		△76	△78	△78	利益剰余金		31,001	34,347	33,801
資産合計		94,925	108,774	100,773	自己株式		△18,136	△18,143	△18,140
					その他の包括利益累計額		△489	1,075	1,102
					その他有価証券評価差額金		88	127	170
					為替換算調整勘定		△419	1,218	1,215
					退職給付に係る調整累計額		△158	△270	△283
					<b>純資産合計</b>		<b>66,943</b>	<b>71,847</b>	<b>71,331</b>
					<b>負債純資産合計</b>		<b>94,925</b>	<b>108,774</b>	<b>100,773</b>



中間連結損益計算書

(単位:百万円)

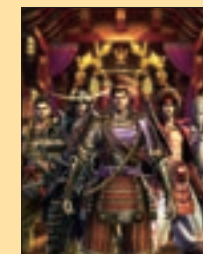
科目	期別	前中間期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	当中間期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
売上高		25,917	31,638	64,277
売上原価		14,715	20,745	38,379
売上総利益		11,201	10,892	25,898
返品調整引当金戻入額		74	—	87
<b>差引売上総利益</b>		<b>11,276</b>	<b>10,892</b>	<b>25,985</b>
販売費および一般管理費		6,892	8,048	15,403
<b>営業利益</b>		<b>4,383</b>	<b>2,844</b>	<b>10,582</b>
営業外収益		360	153	664
受取利息		47	48	98
受取配当金		6	7	13
為替差益		249	46	292
その他		56	50	260
営業外費用		203	105	396
支払利息		42	58	85
支払手数料		41	29	83
店舗閉鎖損失		87	—	142
その他		31	16	84
<b>経常利益</b>		<b>4,540</b>	<b>2,891</b>	<b>10,851</b>
特別損失		10	33	150
固定資産除売却損		10	33	100
減損損失		—	—	49
<b>税金等調整前中間(当期)純利益</b>		<b>4,530</b>	<b>2,858</b>	<b>10,701</b>
法人税等		1,556	906	4,084
法人税、住民税および事業税		893	859	1,146
法人税等調整額		663	47	2,937
中間(当期)純利益		2,973	1,951	6,616
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益		2,973	1,951	6,616



表紙の説明

「戦国バサラ4 皇」(プレイステーション 4・3用)

『戦国バサラ』シリーズは、戦国時代の武将や史実をモチーフにしながらも、ユニークで斬新な世界観を創造したスタイリッシュ英雄(HERO)アクションゲームです。ワンコンテンツ・マルチユース戦略に基づき、その魅力的な世界観をアニメ、舞台など幅広い分野へ展開しております。最新作『戦国バサラ4 皇』は、シリーズ最多40武将の個性あふれるアクションおよびストーリーをお楽しみいただける内容となっております。



中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	当中間期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー		△3,776	△1,036	4,286
投資活動による キャッシュ・フロー		△1,635	△1,251	△5,496
財務活動による キャッシュ・フロー		2,377	1,212	1,278
現金および現金同等物 に係る換算差額		809	134	1,811
現金および現金同等物 の増減額		△2,224	△940	1,879
現金および現金同等物 の期首残高		26,118	27,998	26,118
現金および現金同等物 の中間期末(期末)残高		23,893	27,057	27,998

会社の概要

(平成27年9月30日現在)

社名 **株式会社カプコン**  
(CAPCOM CO., LTD.)  
設立 昭和54年5月30日  
創業 昭和58年6月11日  
主要な事業内容 家庭用テレビゲームソフト、オンラインゲーム、モバイルコンテンツおよびアミューズメント機器等の企画、開発、製造、販売、配信ならびにアミューズメント施設の運営  
資本金 332億39百万円  
従業員数 連結2,816名(単体2,114名)  
ホームページ <http://www.capcom.co.jp/>

株式の状況

(平成27年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 150,000,000株
- 発行済株式の総数 67,723,244株
- 株主数 12,220名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
有限会社クロロード	5,276	9.38
辻本憲三	2,008	3.57
辻本美佐子	1,964	3.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,858	3.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,753	3.12
チェスマルツバンクジーティーエスクライアントアカウント エスロウ	1,699	3.02
辻本美之	1,669	2.97
辻本春弘	1,548	2.75
辻本良三	1,545	2.75
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー・レギュラー・アカウント	1,395	2.48

(注) 1. 持株比率については、自己株式数(11,494千株)を控除して算出しております。  
2. 辻本美佐子氏は平成27年7月2日にご逝去されましたが、相続手続きが未了のため、平成27年9月30日時点の株主名簿に基づき記載しております。

取締役および監査役

(平成27年9月30日現在)

代表取締役会長  
最高経営責任者(CEO) 辻本憲三  
代表取締役社長  
最高執行責任者(COO) 辻本春弘  
取締役副社長執行役員  
最高財務責任者(CFO) 小田民雄  
取締役専務執行役員 江川陽一  
取締役 保田博  
取締役 松尾眞  
取締役 守永孝之  
監査役(常勤) 平尾一氏  
監査役(常勤) 岩崎吉彦  
監査役 家近正直  
監査役 松崎彬彦

(注) 1. 取締役 保田博、松尾眞および守永孝之の各氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役 岩崎吉彦および松崎彬彦の両氏は、社外監査役であります。  
3. 取締役 保田博、松尾眞および守永孝之ならびに監査役 岩崎吉彦および松崎彬彦の各氏につきましては、株式会社東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

カプコンIRサイトのご案内

<http://www.capcom.co.jp/ir/>

当社では、株主や投資家の皆様に最新情報をタイムリーに提供することを目的として、ホームページを活用したIR活動にも注力しております。カプコンIRサイトでは、株式情報や経営戦略に加え、開発者へのインタビューやアナリストコンセンサスなど様々な情報提供を行っております。

当社IRサイトは、情報の充実度や使いやすさにおいて評価機関より高い評価をいただいております。



IRトピックス

いま注目すべきIR活動をメインビジュアルで視覚的に告知することに加え、最新情報が素早く確認できるシステム(RSS)にも対応しております。

個人投資家の皆様へ

当社をより深くご理解いただけるよう、「カプコンの強み」や「事業内容」などをわかりやすくご説明しております。

IRアプリ「カプコンIR for iOS」

最新リリースや決算情報などのIR情報をお届けするiPhone向けアプリケーションです。資料の閲覧や保存ができるほか、IRイベントのスケジュール登録などが簡単な画面操作でご利用いただけます。  
<http://www.capcom.co.jp/ir/mobile/apps.html>

ソーシャルメディア CAPCOM IR 公式アカウント

TwitterやFacebookなどのソーシャルメディアを通じてプレスリリースや新聞・テレビでのメディア掲載情報などを発信しております。

スマートフォンからもIR情報へアクセス

当社の業績概要や株式情報がスマートフォンからも閲覧できます。スマートフォンからは上記IRサイトに直接アクセスしてご覧いただけます。

『統合報告書 2015』発行

今年度からESG情報などの非財務情報を充実させた「統合報告書」として発行しました。本書では、当社の企業価値創造活動の解説に加え、コーポレートガバナンス・コードの適用が目される昨今、当社のガバナンスの実効性を紹介すべく、社外取締役と投資家のスモールミーティングの概要を新たに収録しました。更に、当社の経営トップと社外取締役の対談や取締役会の議論、ガバナンスの外部評価を掲載しています。ご希望の方は当社広報IR室までお問い合わせいただくか、当社IRサイトの資料請求フォームをご利用ください。 株式会社カプコン 広報IR室 電話06-6920-3623





## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金受領株主日 3月31日

中間配当金受領株主日 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

電話(通話料無料)0120-094-777

公告方法 電子公告

当社のホームページ(<http://www.capcom.co.jp/>)に掲載します。

ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所

## ●ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として株主様が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行にお問い合わせください。なお、同行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でのお支払いいたします。



この報告書は、環境に配慮し、  
植物油インキを使用しております。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。